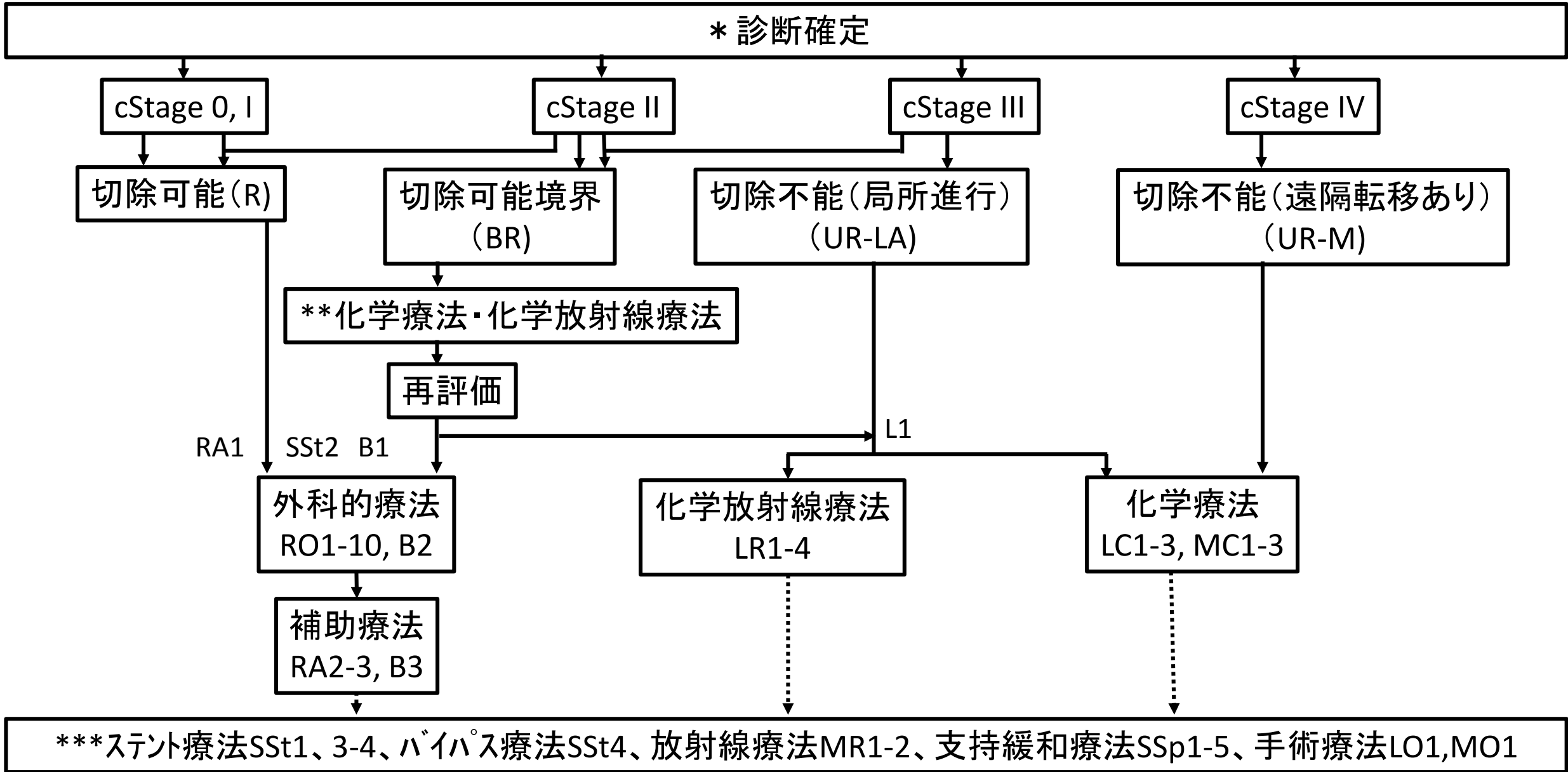


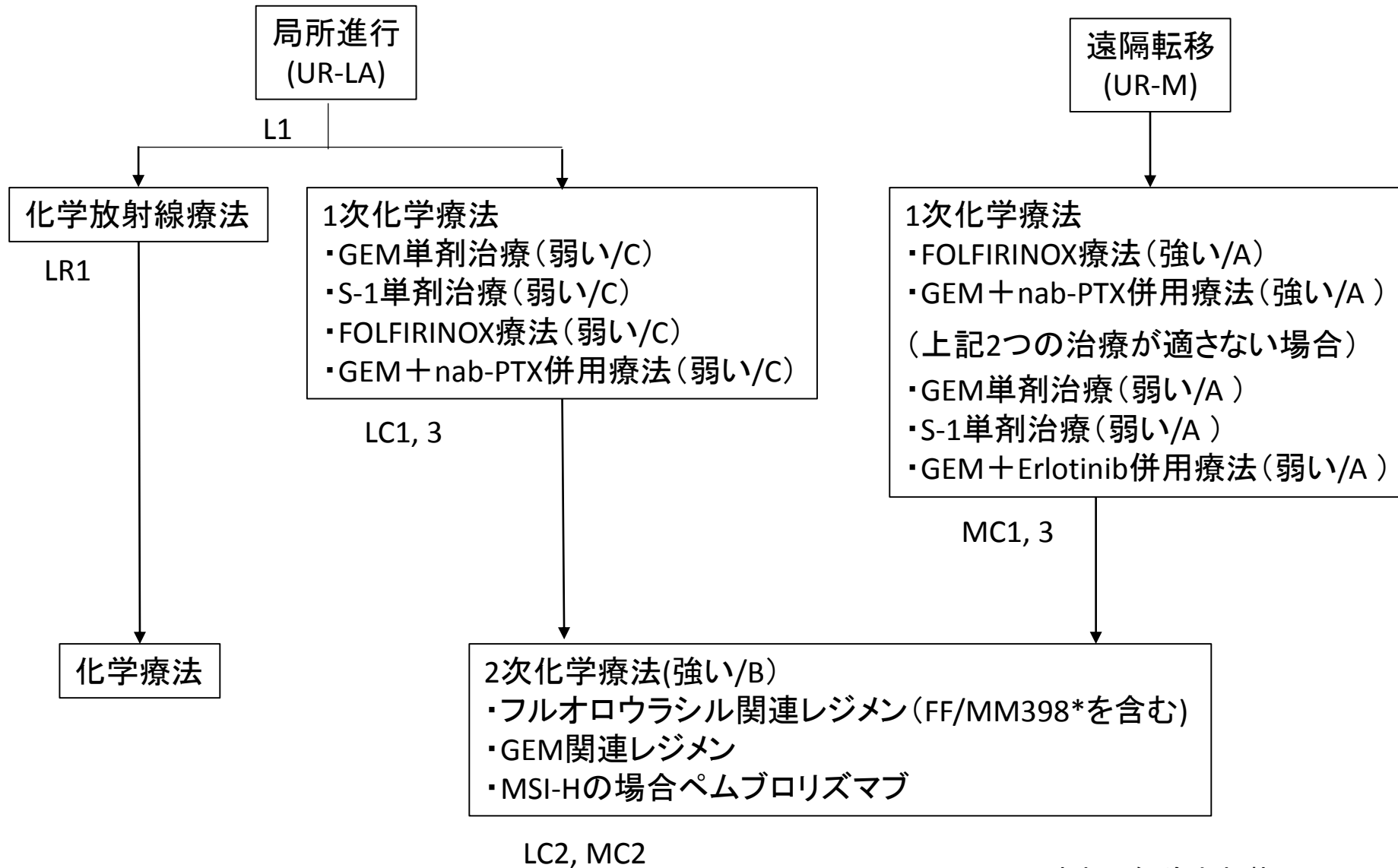
* EUSは習熟した施設で行うことが望ましい。

** 可能な限り病理診断を行う。

*** 必要に応じて造影CT、造影MRI、EUS、PET、審査腹腔鏡を行う。



cStage分類、Resectability分類は日本膵臓学会「膵癌取扱い規約」第7版による。
 *膵癌患者においては診断初期から疼痛・消化吸収障害・糖尿病・不安などに対する支持緩和療法が必要となる。詳細については各病態の診療ガイドラインおよび日本緩和医療学会のHP(<https://www.jspm.ne.jp/guidelines/>)を参照されたい。
 **BR-PVでは化学療法・化学放射線療法を経ずに外科的切除となることがある。詳細はB1解説文を参照されたい。
 ***Stent療法、バイパス療法、放射線療法、支持緩和療法、手術療法は患者の病状により適応とする(適応は本文に詳述)



*MM398は本邦で保険未収載

()内は、推奨の強さ/エビデンスの確実さ(強さ)A-Dを示す